

## 1 2021年3月期中間期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（百万円未満切捨て）

### （1）連結経営成績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月中間期	57,456	2,954	3,107	1,654

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月中間期	116,137	64,408	51.7

（注）連結子会社は17社

## 2 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通 期	123,500	△7.2	7,100	△28.5	7,300	△27.0	4,100	△23.3

※ 上記の予想は本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 3 当中間期における事業の概況および下期の見通し

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、世界的に流行した新型コロナウイルス感染症の終息時期が全く見通せない状況の中、経済へのマイナスの影響が大きく、段階的に経済活動は再開されましたが、総じて厳しい状況でした。

当社グループが属する建設業界におきましては、企業収益の減少と先行き不透明感の高まりによって民間の設備投資意欲に慎重な姿勢が見えはじめ、前期までのオリンピック関連工事が一段落したこともあり、需要は弱含みで推移しました。

このような環境の下、当社グループは、同感染症による工事進捗への影響を受けた地域もありましたが、引続き、収益構造の改善、生産性の向上、グループ経営基盤の強化に注力してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の連結業績は、売上高 574 億 56 百万円、営業利益 29 億 54 百万円、経常利益 31 億 7 百万円、親会社株主に帰属する中間純利益 16 億 54 百万円となりました。

当下半期の見通しとしましては、新型コロナウイルス感染症の影響がさらに長引くと予想され、政府による老朽化したインフラの更新、国土強靱化のための建設投資は継続する見込みですが、民間設備投資は落ち込む傾向となり受注環境は厳しくなると懸念されます。連結業績予想につきましては、売上高 1,235 億円、営業利益 71 億円、経常利益 73 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 41 億円を見込んでおります。

以 上